

和佐・木坂ラジオ・プレミアム



YouTubeでは放送できない『ここだけ』の話

脱・マイルドヤンキーを夢見て。

どうも、YouTubeをご覧の皆さん、和佐です。

YouTubeで絶賛放送中の「和佐・木坂ラジオ」ですが、始まったきっかけは「何か新しくて面白いことをしよう」という、とてもライトなものでした。

が、僕らの持ち前の真面目さで、結局は「ゆるさ」や「軽さ」のようなものとは無縁の、かなり重たい内容を毎週お届けすることになってしまっています（苦笑）

期せずして、ラジオの方向性は「**脱・マイルドヤンキー**」という、謎の合言葉でまとまってきましたが、いかがでしょうか？

脱・マイルドヤンキーしてますか？（笑）

マイルドヤンキーとは、

**特定の地域にだけ住み、
特定の人間関係の中だけで、
特定の情報にだけアクセスして生きて行く生活スタイル**

のことを指し示すわけですが、日本人の90%以上はマイルドヤンキー的な生活をしています。

しかし、これから時代はますます加速し、凄まじい勢いで変化していきます。

そんな激しい変化の中、自分自身の生活や常識を**絶対化**し、「外の世界」に目を向けない生き方を続けていたらどうなるでしょう？

簡単に言えば、1億総老人化、です。

少子高齢化で日本人の平均年齢は上がっていく一方ですが、実年齢だけではなく平均精神年齢が老人化した未来が待っているのです。

老人とは、動きの鈍い人間のことです。

肉体的にも、精神的にも、思考的にも。

過去の経験が豊富なゆえに、過去を絶対化してしまう。

これから先、どんな未来が待っているかもわからないのに、過去の成功や失敗の体験に囚われて、過去の記憶だけで未来を判断しようとするような、そんな国民的総意が、日本にはあるのです。

学校、行政、法律、あらゆるものが変化を乗り越えるような働きではなく、変化を先送りにするような働きをしている。

もうそろそろ先送りするのも限界なんじゃないでしょうか？
あなたも薄々そう感じているんじゃないでしょうか？

だから僕らは自ら率先して、変化を受け入れ、変化を乗り越えようような生き方にシフトしていく
必要があると思うのです。

それが、脱・マイルドヤンキー運動です。

過去を絶対化した老人になるのではなく、過去を踏まえて乗り越えた先の未来に向かう若者になるために。

未来のパラダイム

ラジオでは一貫して「**これからの未来のパラダイム**」について話しているつもりですが、例えばどんなことが実際に考えられるのでしょうか？

ラジオでよく話題に出る前提は、

1. 今の日本を維持するにはコストが高すぎる
2. どこかの段階でコスト削減が必ず起こる
3. 場合によっては「破綻」や「災害」がそのきっかけとなるかもしれない

4. 世界はローカルとグローバルに分かれる
5. ローカルとグローバルはルールが全く違う
6. どちらが良い・悪いではない
7. 50%の職業は近い将来、機械化される
8. 未来の選択を今しなければならない（より有利なポジションを取るためにも）
9. **準備が一番重要・いつでも動けることに意味がある**

などなどです。

「日本」という国を考えたとき、そもそもとして地方自治体や制度を維持するための財源が確保できないので、今のような税金をじゃぶじゃぶ使ったやり方ではコスト的に維持し続けることは不可能です。

であるなら、いつの日か、**財政収縮や道州制が適応されるなどの可能性が高い**、というわけです（要するにコストカットとそれによる混乱と不景気）。

※道州制＝日本をいくつかの州に分割して、国の一元管理ではなく、州に高い自治権を与える制度。これによって州（地域）の財源に見合った法律、制度が運用されるようになり、無駄なコストの削減が見込める。しかし、「貧乏な州」もあれば「裕福な州」も生まれるため、格差は広がる。

例えば可能性として考えられることとしては、このまま日本の財政が悪化の一途をたどったなら、日本の信用はどんどん落ちて、それによって円安が加速、日本国内にいる資産家の海外流出も加速し、金利を上げざるを得なくなります。

※既に2015年7月から「出国税」というものの運用が始まり、海外に資産を移したり、海外に移住するときに持っている資産に対しても課税されるようになっていきます。つまり、「日本の

富裕層が海外に出て行く」ということに対してかなり敏感になっているのです。

これによって、

- ・ 日本円の価値が下がることによる物価の上昇（食料、エネルギー）
- ・ ローンや融資などの金利の上昇、貸し渋り（中小企業の資金繰りの悪化）
- ・ 輸入で材料、商品を仕入れている企業の倒産
- ・ 資金繰りが悪化した企業の倒産

などが連鎖的に起こり、生活水準が下がるだけでなく、業種によっては失業率もかなり高くなり、最悪の場合は**「みんなが銀行から預金を引き出したり外貨に交換し始めることで、金融機関が潰れたり、それを止めるために預金封鎖や制限が実施される」**ということです。

まあ、さすがに日本は中国のような社会主義国家ではないので、現実的に預金封鎖や財産の没収などが起こるのは相当ヤバイケースだと思いますが、実際、つい先日中国株式市場の大混乱では、中国政府は「中国株の取引を一部制限」しました。

要するに「これ以上売るな」と、政府から命令され、売ろうと思っても売れない状態になったのです。

これを僕らに当てはめるとすれば、日本円が円安に急激に振れたとき、取引が制限され、預金の引き出しも外貨への交換も事実上できなくなってしまう、ということなのです。

「何が起きるかわからない」のが経済であり、「やろうと思えばやれる」のが政府というものの恐ろしさです。

ですが、**こうやって「金融危機」や「財政破綻」などの荒療治で「リセット」する必要があるほど、日本や世界の経済は膨張しているのですから**、嫌だ嫌だと先延ばしにしている場合ではありません。

規模の大きさはわかりませんが、「必ず、いつか、くる」のです。

．．．．．

そして「世界」に目を向ければ、わかりやすく二極化が進んでいます。

貧乏人と金持ち、という二極化の区分だけではなく、例えば、「生産」と「消費」など、国単位で二極化が進んでいます。

「生産するための国」は必然的に貧乏で、「消費するための国」は必然的に金持ちです。

工業製品のみではなく、食料も同じで、アフリカで生産されたトウモロコシは、現地人の口に入ることなく、アメリカや日本で消費され、アフリカでは飢餓と貧困が蔓延しています。

ローカルでは「生産」や「サービス業」が人々の生業となり、グローバルでは「開発」や「流通」が人々の生業となります。

ローカルとグローバルでは明確にルールが違うので、当然ですが、それにふさわしい生き方や、パラダイムがあります。

日本の現状は丁度このグレーゾーンにあるので、今はまだ、職業選択の自由などがありますが、例えばロシアの田舎の漁師町に生まれたらどんな人生になるか、予想しやすいですね？

インターネットが発達し、情報へのアクセスは自由になっていますが、実際のローカルの現場は、自由とは程遠いのです。

当たり前ですが、グローバルな生き方だから幸せ、というわけではありません。

むしろ、グローバルな人材ほど課せられる使命は大きく、多くの場合は重労働です。

文字通り、「世界が相手」なわけですから。

ローカルな生き方でも、幸せな人は幸せで、不幸な人は不幸です。

**幸福を決めるのは「立場」ではなく、「意思」なのです。
自らの意思で、そこに立っているかどうか、なのです。**

日本人は今、自分の意思でどんな人生を歩むか決められる状態にあります。

だからこそ今のうちに「選択」する必要があるのです。

そして、多くの経済学者や技術者が「これから20年も経たないうちに、今ある職業の50%以上は機械化される」と予想しています。

だからこそ、僕らは「人間にしかできない仕事」をしなければならない。

誰にでもできることではなく、自分にしかできないこと、人間にしかできないことをやる。

未来を見据えた上で、今、ここで、未来の決断を下しましょう。

そして、準備をすることです。

今はまだ余裕があるわけですから、この余裕を利用して、準備を着実に進めていくことで、
来る未来において、自分を有利なポジションに置くことができるようになるはずです。

未来のパラダイムはまだ決まってはいませんが、ここまでの前提は誰の目から見ても明らかな事実です。

これらを踏まえた上で、**じゃあどうするのか？**を、切り開いていける人間を目指すのが、
脱・マイルドヤンキーであり、和佐・木坂ラジオの目的です。

僕らは「答え」を教えることはありません。

「僕らはこうやって準備している」という話はできますが、それだけが正解とは限りません。

また、真似できることとも限りません。

「誰かに答えを教えてもらおうとする」ということ自体が、**「誰かが過去に見つけた答えがあって、それを使えばなんとかなる」**という発想なわけですから、過去を絶対化した老人の発想です。

未来の答えはこれから作っていくものです。

その道中を楽しめるかどうかが、これからの時代を強く生き抜いていく人間に求められる
資質なんだと思います。

脱・マイルドヤンキーが止まらない

さて。

色々とかいつまんで話してきましたが、ここまでの話を聞いてあなたは
どう感じましたか？

結局のところ未来がどうなるかなんてははっきりとしたことは誰にもわかりません。

数ある不安要因や期待要因をテーブルの上に可能な限り出した上で、現実的にあり得る未来を
シミュレーションして、そしてそれに備えることしかできません。

例えば可能性としては第三次世界大戦や、同じぐらいの可能性だと思えますがいつの日か
インデペンデンス・デイがやってくるかもしれません。

そうなればもう備えも何もあったものじゃないわけで（苦笑）現実的には「無限の問題（可能性）に備えることはできない」わけで、自分自身がどんなシミュレーション（守備範囲）をするかが重要になってきます。

シミュレーション（守備範囲）が正しければ、未来はきっと明るくなるはずです。

逆にシミュレーションが間違っていたり、甘ければ、原発事故や大地震
よろしく的な、
なすがまま、されるがまま、流されっぱなしの人生になるでしょう。

僕らがオススメしている防衛策は「脱・マイルドヤンキー」です。

つまりは、

- ・ できる限り軽く
- ・ できる限り早く
- ・ できる限り安く（エネルギーコスト的に）
- ・ **臨機応変に現実問題に対処できる脳みそと現実を手に入れよう**

ということです。

マイルドヤンキーはこの真逆で、

- ・ 腰が重く
- ・ 足が遅く
- ・ 負担が多く
- ・ **様子を見ているだけで自分からは動こうとしない脳みそと現実を生きている**

ということです（苦笑）

あなたにとっては何が脱・マイルドヤンキーの足かせになっていますか？

- ・ 自分自身の頭の硬さ？
- ・ 家族や友人などの人間関係？
- ・ お金がないこと？

それとも他に何かどうしても譲れない何かがありますか？

僕らは別に、完全に全てのしがらみを捨てろと言っているわけではありません。

事実、木坂さんは違うと思いますが、僕の場合は、

- ・ 身体障害という高いコスト
- ・ 家族という高いコスト

という捨てられないもの、変えられないものを持っています。

しかし、「抱えているものが多いこと」は臨機応変に対応できないことの言い訳にはなりません。

誰だって大なり小なり、抱えているものがあったり、変えられない性分があたり、譲れないものがあるものです。

だからこそ、僕は脱・マイルドヤンキー化を目指して欲しいと思います。

なぜなら、

「大事なものを守ることと、大事なものと一緒に沈みゆくことは、似て非なるものだから」

です。

時代は加速し、現実は日々変化していきます。

そんな中で、大事なもののばかりを抱えたまま、自分だけは変わらないと希望的観測に身を委ねた結果、全てを失うなんて愚の骨頂だと思うのです。

失わないためにも、守るためにも、

- ・ 変化すること
- ・ 変化しないこと

この2つを明確に分けて、自分の中ではっきりとさせる必要があります。

「変化しないこと」は、たぶんあなたのアイデンティティにとってとても重要なことで、それがなければあなたはあなたでは無くなってしまいうでしょう。

だから変えなくてもいいです。

でも、言い換えれば「**他は全部変わったっていいこと**」なわけです。

というか、そこにしかあなたが時代の変化に適応するための伸び代はないのです。

本当に大事なものは一所懸命に守る。

それ以外の部分は貪欲に変化することを求め、柔軟で臨機応変な対応をする。

これからの時代はある意味で言えば、

「どれだけ上手く時代の波を乗りこなすか」
の勝負になってくると思います。

波に飲み込まれて溺れてしまっては大事なものを守ることはできません。

右肩上がりに波打つ経済

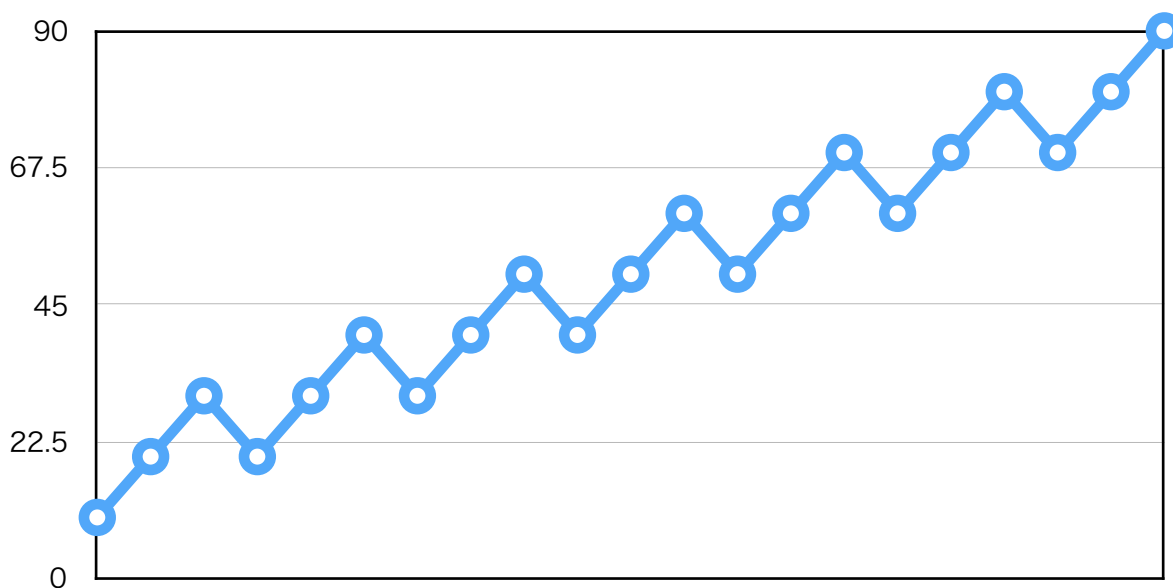
「経済」は僕らの人生にとってとても重要な意味があるものです。

資本主義が主流の世界ですからね。

これは日本から外に出たとしても同じことです。

面白いことに、世界の経済は「**右肩上がりに波打つもの**」です。

図にするとこんな感じ。



※数字に意味はないです

バブルが膨らみ、破裂しを繰り返しながら、全体的には右肩上がりで世界中の「富」は増えているということです。

例えば100年前には考えられなかったような物やサービスや医療が、今では普通に手にすることができるようになっていきます。

もちろん、貧困に苦しむ人たちもいますが、それでも平均的な生活水準は100年前と比べると格段に上がっているはずですよ。

で、経済をこのように「右肩上がりに波打つ物である」と認識した時に、面白い発見があります。

それは、

- ・ **なぜ成長するのか？**
- ・ **なぜ縮小するのか？**

という、はっきりとした経済のルールが見えるようになる、ということです。

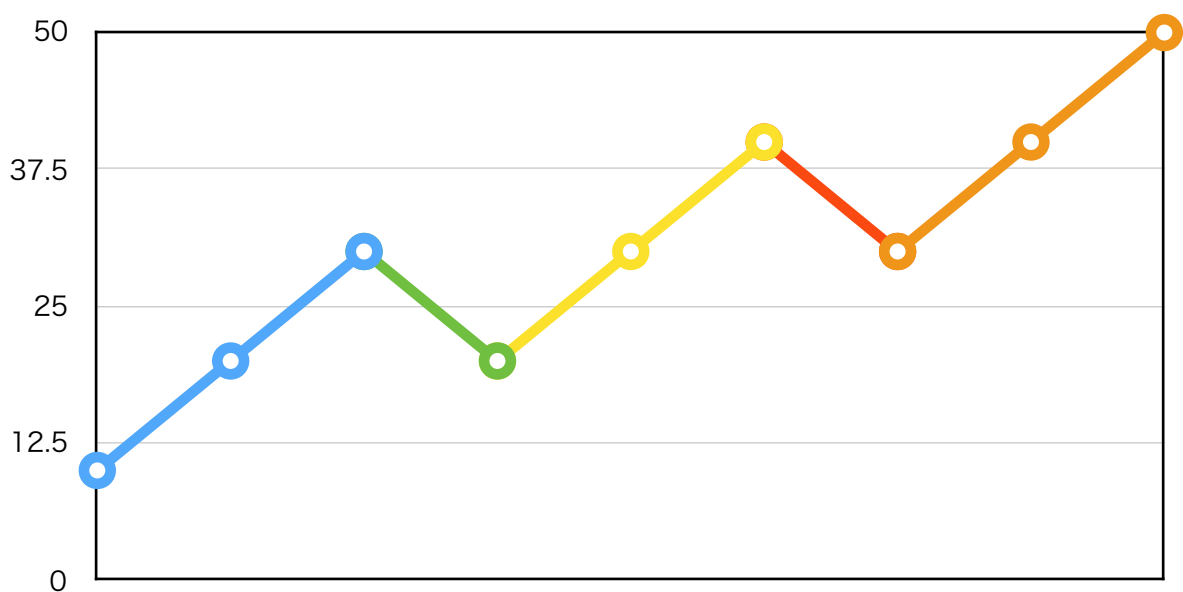
これを僕は「時代のパラダイム」と呼んでいますが、つまり、

- ・ 経済が成長するパラダイム（法則）
- ・ 経済が縮小するパラダイム（法則）

が存在する、ということです。

そしてこのパラダイムを理解し、事前に察知できたなら、
簡単に上昇トレンドに乗り、下降トレンドを避ける、ということができるようになるのです。

先ほどの図をもう少し拡大してみると、



こんな風に見ることができます。

成長と縮小を色分けしていますが、**時代によって成長の原因も縮小の原因も違う**、ということ。

例えば「青」の成長は中国株バブルのようにギャンブル的な要因の一時的な成長かもしれませんが、「緑」の縮小は3. 1 1のような災害が原因かもしれません。

その時代固有のトレンドと原因があって、その時代固有のパラダイムで世界は動いているのです。

俯瞰してみれば「これまでの10年間のパラダイム」と「これからの10年間のパラダイム」という風に見ることもできます。

日本の「これまでの10年間のパラダイム」は、多様化と合理化のパラダイムだったと言えるでしょう。

つまり、

- ・より面白いもの
- ・より合理的なもの

このどちらかで勝負すれば勝てる時代だった、ということです。

それもこれも、日本の景気自体が横ばいで比較的安定していたからなわけですが、これからは縮小トレンドに突入するかもしれません。

そうすると次は「保守派と推進派」に分かれるかもしれません。

つまり、

- ・これまでの生活を変えたくないというニーズ
- ・これからの生活を良くしたいというニーズ（今よりもっと過激な意味で）

この2つが時代を象徴するトレンドになるかもしれない、ということです。

トレンドが変わり、パラダイムが変わると、今売れている「パズドラ」などのゲームが衰退し、「子供の教育」「家族の健康」「肉体改造」「予防医療」などの市場がさらに伸びるかもしれません。

もちろんこれは「ビジネス」という文脈で見た時のパラダイムの変化であって、もっと俯瞰すれば、**「そもそも住む国を選ぶ時代になる」**という風にも言えるかもしれません。

これまでの成長トレンドが「国家主体の成長（国家ありきの成長）」だったとしたら、それが縮小し、次の成長トレンドは**「人間主体の成長（国家は関係ない）」**かもしれません。

つまり、僕らはまるでホテルを選ぶかのように自分の国を選ぶようになるかもしれない、ということです。

実際、法人はもうそうなっていますよね？

「法人」とは、その名の通り「法で認められた1つの人格」です。

上場企業の場合は株主や役員の総意が人格となり、そうでない場合は要するに社長の意思決定次第です。

工場を海外に置くもよし、拠点を海外に移すもよし、あるいは、地域密着型で自分が生まれた地元で納税するもよし。

「最初からデザインするなら、税金を納める場所なんてどーとでもできてしまうもの」なのです。

法人に国家という縛りはありません（あるけど、抜け道はいくらでもある）。

そして近年ではPT（パーマネント・トラベラー）やフリーライダー（タダ乗り）のような人種も世界的に増えています。

「民族や国家に属する個人」ではなく、「自分の信念に属する個人」が増えているのです。

別に僕は日本を捨てるとか、税金を払うなど言っているわけではないですが、要するにもはや国家に属する、地域に属するというパラダイムが古くなってきている、ということです。

昔は地域に属するということはとても有効な成長戦略だったわけです。

僕が子供の頃には大型量販店には行かずに、近所の知り合いの電気屋や小さいスーパーにわざわざ買い物に行ったり、修理を頼んだりしていましたが、最近はそんな小さな電気屋やスーパーは潰れ、大型量販店に行くのが当たり前になっています。

もっと言えば、Amazonで買うこともあるでしょう。

昔、通用した成長戦略は、次の時代には通用しないのです。

重要なことはただ1つ。

「備えあれ」

ということです。

選択の自由が最大の武器になる時代

僕らは今、消費者として「自由な選択をしている」と思い込んでいますが、果たして本当にそうでしょうか？

僕が思うに「選択の自由」というのは、「今この瞬間に選べるものの数」というよりも、**「いざという時にすぐに脱出できるバックドア」**のようなものです。

目先の選択肢の多さに惑わされるのではなく、もっと本質的な道の選択ができるようになってこそ、選択の自由があると言えるのではないのでしょうか？

場合によっては生活スタイルも生き方も変わるかもしれません。

例えば日本の人口減少問題を考えるなら、これから100年もしない内に日本人口は今の半分以下になると言われています。

僕の生まれた「高知県」のデータを見てみると、

- ・2010年度の人口は754,000人
- ・2060年度の人口は391,000人

という試算が出ています。

半分近い人口が減るわけです。

そして僕が生まれた町「中土佐町」のデータを見てみると、

- ・2010年度の人口は7,600人
- ・2060年度の人口は2,400人

という驚きの試算です（苦笑）

実に3分の1になってしまうわけですよ。

2400人の人口で今までのような生活は成立するのか？

このデータは現在の人口動態の数値から割り出しているものなので、実際にはもっと加速度的に人口は減っていくと思います。

人口が減れば産業も衰退し、サービス業も、その他の業種も、全てにダメージが出ます。

単純に機能不全に陥ることは目に見えているわけですが、驚くことに僕の地元では、久しぶりに帰ってみると結構新しい建物ができていたりします（苦笑）

土地を買って、家を建てているのです。

これが「**人口が減ることも、津波の危険があることも、いずれ行政破綻するかもしれないことも、全部織り込み済みですよ。もちろん。**」というならなんの問題もないですが、たぶん、「地元だから」「田舎暮らしがしたいから」という理由で家を建てている気がします（苦笑）

問題は、

「問題が顕在化した時に選択の自由があるか？」

です。

例えば、お金がなくて引っ越しができないとか、家を売りたいけど買い手がいないとか、自分自身が高齢で引っ越しが億劫だとか、様々な理由で選択肢が減ってしまうのは不幸の始まりだと思うのです。

先ほども書きましたが、

**幸福を決めるのは「立場」ではなく、「意思」なのです。
自らの意思で、そこに立っているかどうか、なのです。**

自分の意思に関係なく身動きが取れなくなるのは不幸です。

僕は障害者という立場上、そのことがよくわかります。

もちろん「置かれた場所で咲く」ということもできると思いますが、それはあくまで置かれた場所がそれなりにちゃんとした場所だからできることであって、劣悪な環境で力強く咲くことなんてできないと思うのです。

だから、身動きが取れなくならないように、今から準備をして、選択の自由を手にするべきだと思うのです。

ちなみに、地方の人口が減る一方で、東京都の人口試算は

- ・ 2010年度の人口は12,516,000人
- ・ 2060年度の人口は10,157,000人

となっています。

地方に比べるとあまり人口が減っていないことがわかると思いますが、ますます都会の人口密度が上がることを意味しています。

残念ながら都会にしか仕事がないのです。

2つのパラダイム

では具体的に

- ・ 次の時代に備える
- ・ 波を乗り越えるための準備をする

とはどういうことでしょうか？

答えは

「未来のパラダイムで生きる」

ということですが、これではさすがに抽象的すぎますよね？（苦笑）

パラダイム（時代を支配する法則）には2種類あります。

1. 自分のパラダイム

2. 他人（世界）のパラダイム

1つ目のパラダイムは単純に、自分自身の価値観や偏見のことです。

子供の頃から育ってきた環境、教えられてきた知識、経験してきた出来事、見てきた世界によって、僕らは知らないうちに自分の中に「自分の常識」を作り出します。

常識というぐらいですから、これはまさに絶対化された過去の記憶です。

同じ流れの時代がもしも続くなら、過去の経験則は「余計な失敗をしないため」の防衛策として、とても重要な役割を担ってくれますが、変化の時代においては邪魔者になることが多いです。

あなたが「当たり前ができる」と思い込んでいることが、10年後にはできなくなっているかもしれないし、逆に「当たり前ができない」と思い込んでいることができるようになっているかもしれません。

- ・できることができなくなり
- ・できないことができるようになる

というのは、実はとんでもない変化なわけですが、なぜか僕ら人間はこの変化をあまり意識することができません。

なんとなく、今のような状態が続くと思っている。

これは人類が未だかつて経験したことがないほどのスピードで時代が動いているからなのかもしれません。

つい数百年前までは「100年間変わらないこと」だらけだったのに、今ではむしろ「これから先100年間絶対に変わらないこと」の方が珍しいぐらいです。

もっと言えば、1000年前なら「300年間変わらないこと」が普通で、1万年前なら「1000年間変わらないこと」が普通だったわけです。

「過去の人間の知識・経験を受け継ぐ」ということが、変化の少ない時代においては生命線でしたが、今では昔ながらの方法や知識、おばあちゃんの知恵袋的な常識が通用しないことが多くなっています。

科学が魔術のように忌み嫌われていた時代があったように、新しいパラダイムには必ず淘汰圧がかかりますが、しかしそれでも、必ず新しいパラダイムに置き換わっていくのです。

僕らが歴史を振り返って「何てバカな時代なんだ。」と思うように、未来の人間から見たら今の僕らも「何てバカなんだ。なぜ気づかないんだ。」と思われる存在だということです。

だからまずは自分自身に問いかけてみてください。

「自分は常識に囚われていないか？

自分の常識は未来に相応しくないんじゃないか？」

と。

もしも未来のパラダイムが自分自身の血肉となっていないなら、つまり、マイルドヤンキーっぽさがあるなら、パラダイムを変えるための行動を起こす必要があるということです。

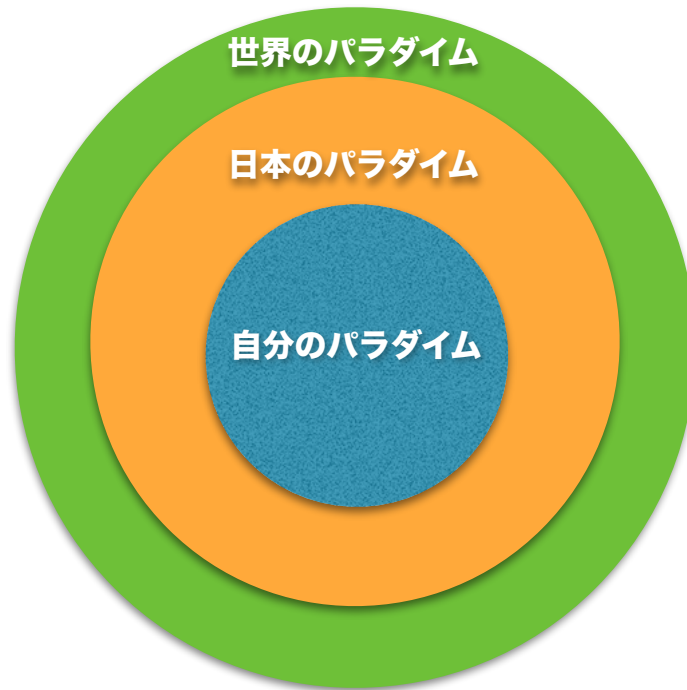
その方法は、2つ目の「他人のパラダイム」にも関係しますが、要するに「環境を変える」ということです。

僕らは僕ら自身が作り上げてきた自分のパラダイムの他に、例えば法律や制度など、他人が作ったパラダイムにも支配されています。

「お金」も「人間関係」も「遊び」ですら、結局は他人のパラダイムに支配されている。

「時代が変わる」ということは、この「他人のパラダイムが変わる」ということです。

図にすればこんな感じでしょうか。



まず最初が変わるのは「世界のパラダイム」です。

グローバルに世界中の様々な要因が複雑に絡み合い、世界の「流れ」を作ります。

第一次世界大戦の時期であれば、「植民地化すること」が世界のパラダイムだったわけで、日本もそれに乗り、軍国主義が始まったわけです。

世界が変われば日本のパラダイムも変わらざるを得なくなります。

そして最後に変化するのが自分のパラダイム。

残念なことに、時代のパラダイムの変化に対して一番最後に気づき、一番混乱し、一番被害を受けるのは僕ら個人です。

何もしないで時代の変化を傍観する、あるいは、希望的観測に身を委ねることは、ただただ混乱を大きくし、苦しみを長続きさせるだけの愚策です。

世界のパラダイムが変わるなら、自分のパラダイムも変えなければならないのです。

どうやって？

答えは簡単。

自分が今置かれている環境を変えることです。

環境というよりも「**情報空間**」と言ったほうがいいかもしれません。

つまり、

- ・ 受け取る情報
- ・ 付き合う人間
- ・ 見る視点
- ・ 生活のパターン

を変えて、**全く違う情報空間に身を置いて、自分のパラダイムをアップデートする、**ということです。

世界のパラダイムを理解し、未来のパラダイムに生きる人たちの中に入り、自分自身の常識や偏見を少しずつ壊し、アップデートする。

ただこれだけです。

環境 = 人生のクオリティ

僕はビジネスで成功することはとても簡単だと思っていますが、昔と今では意味合いが少し違ってきます。

昔は（5年前ぐらい）、

**「ビジネスは自分が適切に動けば必ず成功する。
ルールを理解していれば勝てる。」**

と思っていました。

どちらかというと、積極的に自分が動いて勝ちに行く感じです。

しかし今は、

**「ビジネスは環境がよければ必ず成功する。
勝てる環境にいるだけでいい。」**

と思っています。

これはまさに時代の変化だと思いますが、5年前までは「自分が頑張れば勝てる時代」だったわけです。

でも今は、「環境が悪ければいくら頑張っても勝てない時代」になっています。

昔はパソコンとインターネットさえあればよかった。

それでも「勝てる環境」は整っていたのです。

しかし今はそうではない。

自分が置かれている環境をいかに有利にするか？の時代です。

例えばですが、あなたが野球選手になりたいとして、

- ・近所の草野球チームに入る
- ・父親、親戚がプロ野球選手

どちらが環境として有利でしょうか？

当然ですが後者です。

ビジネスも人生も同じです。

- ・過去のパラダイムを教える教材や塾
- ・未来のパラダイムで生きている師や仲間

どちらの環境があなたにとっていいか？ということです。

後者の環境に属しているなら、当たり前のように未来のパラダイムで成長トレンドに乗ることができ、結果的に人生は豊かになり、ビジネスも成功するはずです。

有利な環境で勝負するだけでいいのです。

逆に言えば、間違っても不利な環境で勝負してはいけない。

あなたが今置かれている環境が、あなたのこれからの人生の質になるのです。

今あなたは「勝てて当たり前の環境」にいますか？

和佐・木坂と共に歩む未来

話が長くなりましたが、

「和佐・木坂ラジオ・プレミアム」

の話をしましょう。

これは僕らが過去に経験してきた「過去のパラダイム（答え）」を伝えるためのものではありません。

テーマは

「脱・マイルドヤンキー」

ですからね。

では何を伝えるためのものなのか？

答えはシンプルで、

「和佐・木坂の未来の話（いま、この選択）」

を伝えるための企画です。

僕らが世界のパラダイムをどんな風に見ていて、過去の自分のパラダイムをどんな風にアップデートして、そして、未来に向かってどう生きていこうとしているか？
を、リアルタイムに伝えていくためのものです。

もちろん、僕らの選択をあなたも真似しなければならないわけではありません。

プレミアムでは「**僕らの持っている世界地図と行き先**」を提供しようと思っています。

あとは地図を見て、自分で自分の行き先を決めてください。

重要なのは、「自分の意思で生きているかどうか」ですから。

知らないが故に迷子になったり、集団自殺に巻き込まれたり、混雑に巻き込まれないようにするには、世界地図が必要です。

未来のパラダイムで生きていくことは、そんなに難しいことはありません。
むしろ、とても簡単で、とても楽しいものだと思います。

どうでしょう？

共に未来に向かって歩き出してみませんか？

和佐・木坂の住まう情報空間にようこそ。

和佐・木坂ラジオ・プレミアムでは僕らが現在進行形で見ている世界、やっていることを「ここだけの話」としてお届けします。

つまりこれは、

「和佐・木坂の住まう情報空間に入る」

ということです。

新しい環境（情報空間）が変われば自分のパラダイムが一気に変わります。

古いパラダイムの一步外に出て、今から着実に準備を始めましょう。

では、和佐・木坂ラジオ・プレミアムの詳細についてお話しします。

■和佐・木坂ラジオ・プレミアムでやること

プレミアムでやることは大きく分けて3種類あります。

1. プレミアムコンテンツの配信
2. 月1回の和佐・木坂との食事会
3. 年に1回の集会

です。

基本的には「オンラインで配信されるもの」になりますが、毎月の食事会と年に1回の集会で、直接和佐・木坂に会うことができます。

僕はセミナーの後に懇親会をよくやりますが、木坂さんは10人以上の人間に囲まれると頭痛がして、20人以上に囲まれると翌日には高熱を出す性質があるようなので（苦笑）基本的に懇親会の類をやりません。

珍獣、いや、幻獣・木坂健宣と「普通に飯を食う」という何事にも代えがたい経験ができるのは実はこの和佐・木坂ラジオ・プレミアムだけです。

1つ1つ細かく説明していくと、

1. ラジオ放送後のマル秘トーク（月2回）
2. 不定期のプレミアムレポート
3. 不定期のQ&Aコンテンツ
4. メンバー専用ページへのアクセス権
5. 月に1回の食事会（1回につき抽選で10名を招待）
6. 年に1回の全体集会（2015年の年末に予定）

となります。

プレミアムメンバーになっていただければ無料放送とは違い、「脱・マイルドヤンキー化に特化したコンテンツ」を手にいれることができます。

これは文字通り「ここだけの話」なので、色々と表立っては言えないようなことも含まれます。

僕らにだって善良な一般市民としての「本音と建前」や「言って良いことと悪いこと」などの良識はあるので（苦笑）ある意味、それらを取っ払うという特殊性がプレミアムの特徴かもしれません。

また、リアルタイムで僕らが見ているもの、考えていること、実際に行動していることをお伝えするので、限りなく生に近い情報になります。

ちなみに、収録時間は毎回異なります。

10分の時もあれば、2時間の時もあると思います。

その時に必要なテーマで、必要な情報を、必要なだけお届けしていくつもりです。

そして、その他にもプレミアムレポートやQ&Aがあり、メンバー専用ブログで過去のコンテンツをアーカイブしていく予定です。

また、不定期ですがコラムも書いています。

基本的に、プレミアムメンバーに配信されるコンテンツは全て「ここだけの話」になります。

食事会に関しては、あまり大人数でやっても全員と喋ることができないので、1回につき最大で10名を抽選で選んで行います。

基本は東京都内で開催となりますが、年に数回は僕のホームの神戸や地方で行われることもあると思います。

食事代に関しては僕らの奢りです。

相応しい料理を食べながら、日本の行く末から、筋トレや漫画の話まで、心ゆくまで会話を楽しみましょう。

最後に、年に1回、プレミアムメンバー全員を集めて集会を行います。

この集会は年に1回の総括であり、翌年に向けた重要な話をする機会でもあります。

僕らが普段開催している5～10万円のセミナーと変わらないクオリティでやるので、楽しみにしてください。

内容に関しては、まだ未定です。

開催場所は都内になると思います。

以上が、プレミアムメンバーだけが手に入れることができるコンテンツと機会です。

かなりのボリュームになりますが、僕らも久しぶりに2人でやる企画なので気合が入っています。

完全な「価格崩壊」になっていますが、気にしないでください（笑）

参加費と支払い方法など

さて、いよいよ肝心の参加費の発表ですが、先ほど紹介した全てで、

参加費は月額4980円（税込）

です。

この金額に特に根拠はありませんが、3000円だと興味本位で入る人もいるけど、4980円なら普通、入らないだろう、という結論でした。

「ここだけの話」が中心となるわけなので、興味本位の人はお断りしたい、ということです。

僕らの的には4980円はかなり「安い」と思います。

「月額約5000円で脱・マイルドヤンキーが止まらなくなるなら安いもんだ」と感じる人だけ、参加してもらえれば嬉しいです。

支払い方法は基本、クレジットカード払いになります。

→ [プレミアムに申込む（クレジットカードのみ）](#)

コンテンツの受け取りについて

新規入会者が受け取れるコンテンツは「入会した日、以降に公開されるコンテンツ」となります。

つまり、今日入会したとすると、昨日以前に公開されたコンテンツは受け取れません。

過去のコンテンツは別料金で販売する予定です。

入会日が早ければ早いほど、より多くのプレミアムコンテンツが手に入るようになります。

追加募集に締め切りは設けていませんが、今日入会するのと、来月入会した場合では、入会を遅らせた分のプレミアムコンテンツが受け取れなくなるのでご注意ください。

食事会に関しては毎月生放送の前日を予定しています。スケジュールは入会してくれた人にお送りしますので、そちらをご確認ください。

あと、かなり先の話ではありますが、2015年12月12日（土）に全体集会を予定しています。

スケジュールの確保をしておいてください。

これまでに配信されてきたコンテンツの一覧

プレミアムのコンテンツは「入会した日、以降に公開されたもの」を受け取ることができますが、コラムはこれまで公開されてきたものが全て読めるようになっています。

現在公開されているコラムは、

<非>常識化の道具箱	第一回	「ルミネ×アンジェリカ＝？」前篇
<非>常識化の道具箱	第二回	「ルミネ×アンジェリカ＝？」中篇
<非>常識化の道具箱	第三回	「ルミネ×アンジェリカ＝？」後篇
<非>常識化の道具箱	第四回	「ルミネ×アンジェリカ＝？」続・後篇
<非>常識化の道具箱	第五回	「ルミネ×アンジェリカ＝？」完結編
<非>常識化の道具箱	第六回	「子供のしつけに“失敗”するとどうなるか？」
<非>常識化の道具箱	第七回	「なぜマッチョは嫌われるのか～マッチョの比較文化論～」
<非>常識化の道具箱	第八回	「人生で大切なことは全て筋トレから教わった」

【和佐コラム】情報は質なのか？量なのか？

【和佐コラム】理想のコミュニティの条件

となります。

こちらは入会直後から読むことができます。

また、プレミアムメンバーページでは過去の無料ラジオの音源も全てダウンロードできるようになっているので、そちらもダウンロードしてiPodなどに入れてぜひ、ランニングでもしながら復習してください。

そしてこちらは過去に配信してきたプレミアム音声の一覧です。

※これらは新規入会者には非公開です

プレミアムトーク001

- ・和佐・木坂の幼少期を振り返って
- ・今っぽさを象徴するキーワードと感覚
- ・時代に取り残されないためにはどうすればいいのか？

プレミアムトーク002

- ・荒削りな勢いと緻密な丁寧さの違い
- ・スピードと確実性のバランスの取り方
- ・衰えた想像力の鍛え方

プレミアムトーク003

- ・今さら聞けないコピーライティングの勉強法
- ・今と昔の研究方法の決定的な違い
- ・メッセージを伝えるとはどういうことなのか？

プレミアムトーク004

- ・和佐・木坂にとっての「希望」とは何か？
- ・人は何のために生きているのか？何のために死ぬのか？
- ・人生におけるリスクとそれに対する対応策
- ・日本人の潜在的なポテンシャルと若者の時代への動き

プレミアムトーク005

- ・グローバルに生きている人々の驚くべき身軽さ
- ・アメリカの属州としての日本のあり方の矛盾
- ・世界に誇る日本の価値とその打ち出し方
- ・首相の願いで原発が止まってしまう不思議な現実

プレミアムトーク006

- ・アセットという感覚と育てていく意味
- ・ビジネスの利益拡大と落とし所
- ・狩猟的ビジネスマインドと農耕的ビジネスマインドの違い

プレミアムトーク007

- ・和佐・木坂が組む理由
- ・過去に犯人を探すよりも未来の役割を考える
- ・愛すると愛されるの決定的な違い

プレミアムトーク008

- ・数値化と数字を見えるということの意外な重要性
- ・インターネットの情報の信憑性は高いのか？
- ・ディテールにどれだけこだわれるのか？粘れるかで世界認識が変わる
- ・知らない世界を理解するために必要な質問の技術

プレミアムトーク009

- ・メイウェザー vs パッキャオ戦について思うこと
- ・自分が体験したことがない悩みを解決する商品の売り方
- ・リアリティと実存とコピーライティングの密接な関係性
- ・自然体で魅力的な人間になる方法

プレミアムトーク010

- ・木坂オススメの江戸前寿司
- ・子供の教育とリスクとインターネット
- ・子供の可能性を広げるためにはどんな教育が必要なのか？

プレミアムトーク011

- ・木坂の集中力の高め方

- ・エネルギーコスト的に考える成功法則
- ・頑張っても上がらないモチベーションの真実

プレミアムトーク012

- ・テクノロジーの進歩とマーケティングの変化
- ・時代が先に進むほど基本の重要性が高くなっていく理由
- ・イーザーモードでビジネスをするか、ナイトメアモードでビジネスをするか
- ・近い将来起こりうるアイデンティティ・クライシス

プレミアムトーク013

- ・理性で積み上げていくか、直感で掴み取るかの違い
- ・論理力の驚きの重要性和鍛え方
- ・客観視することの意味とやり方
- ・矛盾からアウフヘーベンに至る道

プレミアムトーク014

- ・コンテンツ vs マーケティング論争
- ・自分が美しいと思うものを売るのか、売れるものを売るのか
- ・編集者的な生き方のメリット
- ・人間の本質的欲求とは何か？

プレミアムトーク015

- ・老人が持つ貯金が市場に解放されたら日本の景気はよくなるのか？
- ・日本の法律の決定的な問題と首が回らない本当の理由
- ・アベノミクスの意味とお金を刷るという意味
- ・日本崩壊のシナリオを現実的に考えるとしたら僕らはなにをすればいいのか？

これらは新規入会者には非公開の音声ですが、毎月2回、このような情報密度の高い音声が開示されています。

これからますます情報密度が高くなっていくので楽しみにしてください。
古いパラダイム、常識が次々に崩れ去っていくはずですから。

以上。

簡単ではありますが、「和佐・木坂ラジオ・プレミアム」の案内でした。

脱・マイルドヤンキーを目指したい、未来のパラダイムで次の成長トレンドに乗りたいという人は、ぜひこの機会にプレミアムメンバーになってください。

そしてこの1年を飛躍の1年にしましょう。

→ プレミアムに申込む（クレジットカードのみ）

特定商取引法に関する表記